



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月10日

上場会社名 株式会社ハンズマン 上場取引所 東
コード番号 7636 URL <https://www.handsman.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大藺誠司
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役経営企画室長兼経理部長（氏名） 田上秀樹 TEL 0986-38-0847
半期報告書提出予定日 2025年2月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	17,765	5.3	622	61.5	749	52.5	508	52.5
2024年6月期中間期	16,869	8.6	385	△56.4	491	△51.0	333	△51.5

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	36.63	—
2024年6月期中間期	23.48	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	26,764	17,576	65.7
2024年6月期	26,192	17,864	68.2

（参考）自己資本 2025年6月期中間期 17,576百万円 2024年6月期 17,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,880	5.2	1,300	49.5	1,565	43.3	1,060	34.4	76.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年6月期中間期	14,509,800株	2024年6月期	14,509,800株
2025年6月期中間期	750,200株	2024年6月期	300,200株
2025年6月期中間期	13,888,171株	2024年6月期中間期	14,209,128株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

(注) ESOP信託口が保有する当社株式を「1株当たり中間純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております（前中間会計期間471株、中間会計期間0株）。なお、当社が導入していた従業員持株ESOP信託の信託期間は、2023年10月5日をもって終了しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
中間会計期間	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2024年7月1日から2024年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、一方でエネルギー価格や原材料価格の高止まり、円安の長期化による物価上昇が続いており、消費者の生活防衛意識が高まるなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社におきましては、原材料高や円安を背景に、取引先による商品の廃番や値上げが多発する中、これに替わる商品の探究や新規開発に注力することで、可能な限り商品の継続販売と販売価格の維持に努めてまいりました。また、DIYアドバイザー資格取得者の大幅な増員を果たし、店舗接客におけるコンサルティング販売能力を向上させております。

これらの結果、当中間会計期間における既存店の来店客数は前年同期比98.1%、客単価は同102.2%となり、既存店売上高は同100.2%の163億45百万円となりました(注)。また、松原店の通期実績を含む全店ベースの来店客数は前年同期比101.9%、客単価は同103.4%となり、全店売上高は同105.3%の177億65百万円となりました。

利益につきましては、売上高が増加したことにより売上総利益が前年同期比104.3%の56億14百万円となり、営業利益は同161.5%の6億22百万円、経常利益は同152.5%の7億49百万円、中間純利益は同152.5%の5億8百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当中間会計期間の末日においては全12店舗が既存店となりますが、2023年10月にオープンした松原店の2024年7月から10月の売上高は開店後13ヵ月未満となりますので、既存店の売上高には含んでおりません。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)		当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)		増減額	前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<DIY用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	9,233	54.7%	9,633	54.2%	400	104.3%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節用品	5,322	31.6%	5,713	32.2%	391	107.4%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	2,313	13.7%	2,417	13.6%	104	104.5%
合計	16,869	100.0%	17,765	100.0%	896	105.3%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ5億72百万円増加の267億64百万円となりました。これは主に有形固定資産が2億81百万円減少した一方、現金及び預金が1億56百万円、商品が4億36百万円、投資その他の資産が1億12百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ8億60百万円増加の91億88百万円となりました。これは主にその他流動負債が2億25百万円減少した一方、買掛金が7億28百万円、長短借入金が2億円、未払法人税等が1億73百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ2億88百万円減少の175億76百万円となりました。これは主に中間純利益を5億8百万円計上した一方、自己株式の取得が3億65百万円、剰余金の配当が4億26百万円あったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億56百万円増加の17億90百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、8億98百万円(前年同期は4億88百万円の獲得)となりました。これは主に棚卸資産の増加額が4億36百万円となったのに対し、税引前中間純利益が7億49百万円、減価償却費が4億47百万円、仕入債務の増加額が7億28百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億28百万円(前年同期は18億51百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が1億59百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億13百万円(前年同期は11億74百万円の取得)となりました。これは主に短期借入金の純増減額が5億円となったのに対し、長期借入金の返済による支出が2億99百万円、自己株式の取得による支出が3億65百万円、配当金の支払額が4億24百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきましては、2024年8月9日に公表しました予想を変更しておりません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当中間会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,633	1,790
売掛金	598	680
商品	7,705	8,142
貯蔵品	57	57
その他	204	270
流動資産合計	10,200	10,940
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,719	9,551
土地	2,117	2,117
建設仮勘定	19	17
その他(純額)	1,788	1,675
有形固定資産合計	13,644	13,362
無形固定資産		
	342	343
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	762	757
その他	1,242	1,359
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,005	2,117
固定資産合計	15,992	15,823
資産合計	26,192	26,764
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,981	2,710
短期借入金	2,199	2,699
未払法人税等	56	229
その他	1,470	1,244
流動負債合計	5,707	6,884
固定負債		
長期借入金	1,735	1,435
資産除去債務	716	722
その他	168	146
固定負債合計	2,619	2,303
負債合計	8,327	9,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	16,134	16,217
自己株式	△421	△787
株主資本合計	17,857	17,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7	1
評価・換算差額等合計	7	1
純資産合計	17,864	17,576
負債純資産合計	26,192	26,764

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	16,869	17,765
売上原価	11,483	12,150
売上総利益	5,385	5,614
販売費及び一般管理費	5,000	4,992
営業利益	385	622
営業外収益		
受取手数料	78	82
投資不動産賃貸料	61	62
その他	7	13
営業外収益合計	147	158
営業外費用		
支払利息	5	7
投資不動産賃貸費用	21	21
固定資産除却損	13	0
その他	0	1
営業外費用合計	41	31
経常利益	491	749
税引前中間純利益	491	749
法人税、住民税及び事業税	82	188
法人税等調整額	75	52
法人税等合計	157	240
中間純利益	333	508

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	491	749
減価償却費	363	447
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	5	7
投資不動産賃貸料	△61	△62
投資不動産賃貸費用	21	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△189	△81
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△759	△436
仕入債務の増減額 (△は減少)	237	728
その他	681	△446
小計	788	926
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△6	△7
法人税等の支払額	△294	△21
営業活動によるキャッシュ・フロー	488	898
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,884	△159
投資不動産の賃貸による支出	△15	△15
投資不動産の賃貸による収入	61	62
その他	△12	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,851	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,000	500
長期借入金の返済による支出	△379	△299
自己株式の取得による支出	—	△365
自己株式の売却による収入	3	—
リース債務の返済による支出	△23	△23
配当金の支払額	△426	△424
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,174	△613
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△188	156
現金及び現金同等物の期首残高	1,892	1,633
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,703	1,790

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年8月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式150,000株の取得を行いました。また、2024年8月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当中間会計期間において自己株式が365百万円増加し、当中間会計期間末において自己株式が787百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、ホームセンター事業のみであるため、記載を省略しております。